

「円錐角膜の屈折機能評価の研究」へのご協力のお願い

円錐角膜もしくはその疑いがある方が当科を受診された方へ

1. 研究の意義と目的

当科では、患者さんが受診されるとき検査の一つとして、角膜形状解析検査を行なっています。今回の研究では、病気の状態と角膜の変形との関係を調べます。将来的には病状の解明や新規治療法の開発へとつながることを期待しています。

2. 研究の方法

既に撮影された角膜形状解析の検査データを用いて、病変部の形や屈折力などの値を比較します。2003年4月1日から2013年11月30日までの結果を対象とします。病気の進行と角膜の形状との関係を調べます。また白内障手術を受けた方は、手術後の度数と角膜の形との関係を調べます。

3. 個人情報の取り扱いについて

通常の外来検査機器と同様に、検査機器内には匿名化は行われずにデータが残りますが、外来に施錠を行い、コンピューターはネットワークから切り離すなどして個人情報の保護を図ります。研究終了後は、個人を特定できないようにした上で、研究成果を学会や学術雑誌等で公表する予定です。

この研究にご質問等や参加したくないというご希望がありましたら下記までお問い合わせ下さい。研究への参加を希望されない場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

研究責任者

大阪大学医学系研究科眼科学（大阪大学医学部附属病院眼科）

氏名：西田 幸二（教授）

お問い合わせ・連絡先

大阪大学医学系研究科眼科学（大阪大学医学部附属病院眼科）

氏名：藤本 久貴（医員）

TEL：06-6879-3456